

蒸気機関車アイアンホース号にかかる  
「ガバメントクラウドファンディング」の取り組みに対する  
「鉄道史学会」の「住田奨励賞」受賞について

平成30年度に行った、小樽市総合博物館における蒸気機関車アイアンホース号の修繕にかかるクラウドファンディングの取り組みが、「鉄道史学会」の「住田（すみた）奨励賞」を受賞しました。

賞の名称 鉄道史学会 住田奨励賞特別賞（第10回）  
受賞日 令和元年9月21日  
授賞式 鉄道史学会第37回大会（釧路公立大学）  
受賞者 小樽市総合博物館  
選定対象 鉄道施設の長年にわたる保存・運営活動  
とりわけ同館所蔵「アイアンホース号」の修復

【選定理由】

総合博物館は多くの鉄道車両を展示し、鉄道の歴史を紹介していますが、中でも蒸気機関車アイアンホース号の動態展示は子供たちに人気を集めています。

そのアイアンホース号が平成29年度に故障したことから、その修繕費総額約1,200万円の財源確保のため、平成30年度に600万円を目標額として、ガバメント・クラウド・ファンディング「北の鉄道発祥の地小樽に再び蒸気機関車の汽笛を鳴らそう！」を行ったところ、支援の輪は日本全国の多くの方々に広まり、最終的には目標額を大きく上回る総額7,972,748円、364件の寄付を集め、修繕費に充てることができました。

返礼品のメニューに、歴史的鉄道施設に実際に触れる体験を組み込むなど、この活動を通じ、鉄道保存の重要性和魅力を全国に知らしめる工夫に取り組み、このことが鉄道資源を保存・運営する日本全国の博物館にとっても先駆的な事例となったことや、アイアンホース号のファンである子供たちの期待に答えたことが、高く評価されたものです。

※「鉄道史学会」

鉄道史研究の発展のため活動している学術団体。

公益財団法人交通研究協会（実業家住田正一氏を記念する財団）が顕彰する日本の交通史に関する学術的な活動を「住田奨励賞」として、「鉄道史学会」が選考し、表彰するもの。論文の部、図書部の部、特別賞の部（博物館展示および資料保存等）の3部門を設定し、毎年開催している研究大会で、賞を授与しており、今回が10回目の表彰である。

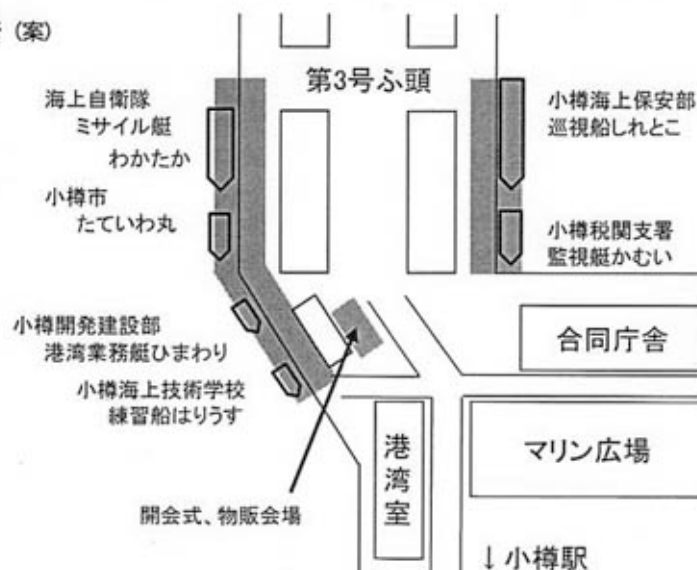
会長 宮下弘美（釧路公立大学教授）

事務局 日本経済評論社内（東京都千代田区神田駿河台1-7-7）

## 小樽港開基150周年・開港120周年記念 官公庁船舶一般公開

- 趣旨** 小樽港は、1869年(明治2年)手宮海官所が設置され、商港として指定されてから150周年、1899年(明治32年)8月4日に外国貿易港に指定され、今年で開港120周年を迎えた。  
これにあわせ、小樽港や関係公的機関の船舶を市民に紹介し、理解を深めることを目的に、港湾関係機関船舶の一般公開を開催する。
- 日時** 令和元年10月6日(日) 10時~15時
- 場所** 小樽港第3号ふ頭岸壁13番・14番・17番・18番
- 内容**
  - 各機関船舶の一般公開、小樽開発建設部業務艇による小樽港周遊(資料館見学含む)
  - 各機関のイメージキャラクターや、グッズ配布などによるPR
  - たるしえ等による物産販売
- 参加機関(予定)**
  - 小樽海上保安部 巡視船しれとこ
  - 小樽税関支署 監視艇かむい
  - 海上自衛隊 余市防備隊 ミサイル艇わかたか
  - 北海道開発局 小樽開発建設部 港湾業務艇ひまわり、みなとの資料コーナー
  - 国立小樽海上技術学校 練習船はりうす
  - 小樽市 ひき船たていわ丸
- タイムスケジュール**
  - 開会式**
    - 10:00 市長挨拶
    - 10:05 来賓挨拶(1名:来賓の方を代表し小樽海上保安部から)  
(来賓は、各機関の代表者や船長など)
    - 10:10 小樽潮太鼓の打演(5分程度)
  - 一般公開等** 10:10(太鼓の打演を合図に開始)~15:00終了 ※開会式は行なわない

### 7 会場イメージ(案)



## 低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業の概要

### 1 事業の目的

令和元年10月の消費税率引上げが低所得者や子育て世帯に与える影響の緩和と消費の喚起・下支えのために実施するもの。

### 2 対象者（概要）

- (1) 令和元年度住民税非課税者（課税者の被扶養者、生活保護受給者等を除く）  
（対象者：約33,000人）
  
- (2) 平成28年4月2日～令和元年9月30日に出生した児童が属する世帯の世帯主  
（対象者：約2,000人）

### 3 使用可能額

対象者1人につき 25,000円（購入額20,000円）  
※ 1冊5,000円分のプレミアム付商品券（500円10枚綴り）を  
4,000円で購入可能（対象者1人につき、最大5冊まで）

### 4 商品券の販売期間及び使用可能期間

- (1) 商品券の販売期間  
令和元年10月1日（火）～令和2年2月28日（金）
  
- (2) 商品券の使用可能期間  
令和元年10月1日（火）～令和2年3月31日（火）

### 5 商品券利用可能店舗

小樽市及び小樽商工会議所のホームページに掲載しているほか、購入引換券の送付時に一覧表を同封しています（9月20日現在、605店舗で利用可能）。  
また、市内各郵便局（小樽幸・オタモイ簡易郵便局を除く）、小樽市プレミアム付商品券事業実施本部で冊子を配布いたします。  
※利用可能店舗の募集・登録業務は、小樽商工会議所に委託しています。

### 6 事業規模

36,000人×25,000円＝9億円  
（うちプレミアム事業分 1億8,000万円）

### 7 今後のスケジュール

- ・ 9月下旬～ 購入引換券送付（非課税世帯、子育て世帯）
- ・ 10月～ 商品券販売開始
- ・ ～2月 商品券販売終了
- ・ ～3月 商品券使用終了